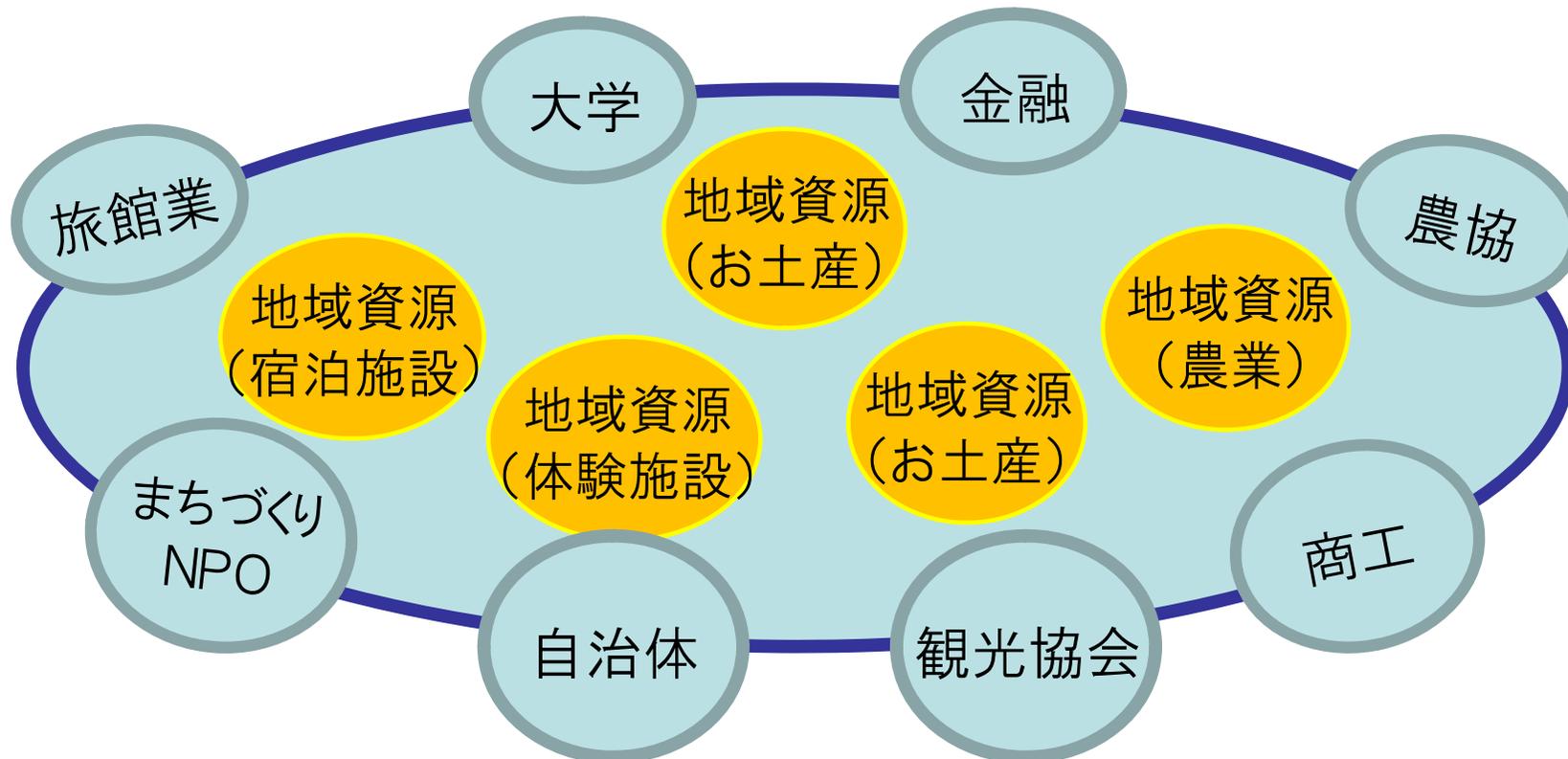


観光は、各地域の取組により、地域独自の資源を掘り起こし、それに付加価値を加え、広報や広告等により、全国、世界に通用するものをつくり、その結果、地域外(国内外)からヒト、モノ、カネを集めることにより、地域にとって持続可能な社会をつくる総合的戦略産業である。



地域における観光立国に向けた取組事例

ニセコ(北海道)

人口:約4,700人

行政・事業者・住民が一体となった取組により、広く国内外から観光客が集まる通年観光地に変貌させた。



高校生による英語案内表示の作成



魅力的なツーリング観光の提案



冬のニセコ山系

佐渡(新潟県)

人口:約62,500人

離島であることの不利を吹き飛ばし、各種伝統的な芸能や建築物を活用したインバウンドへの取組を地域一丸となって推進する。宿根木地区の中学生による無料ガイドは、国内外の観光客に好評。

地域の伝統を活用した取組例 →



直島(香川県)

人口:約3,400人

島民主導で、地域固有の文化や自然の中に、現代アートや建築の融合を図る取組を行い、現在では「現代アートの島」として国内外に名を馳せる。



←草間彌生「赤かぼちゃ」

「石橋」 →



飛騨高山(岐阜県)

人口:約93,200人

バリアフリー対応や、市民のおもてなし意識向上、12カ国語対応のHP、ライトアップ等による冬季の誘客対応などによって、豪雪やバブル崩壊による観光客減少から一転、国内外の観光客を取り込むことに成功。



←飛騨の里ライトアップ



←飛騨高山観光協会HP
(日・英・中(繁)・中(簡)・韓・独・伊・仏・露・スペイン・ポルトガル・タイ)

ニューツーリズム等の振興

○関係省庁等と連携しつつ、地域の特性を活かし、かつ多様化する旅行者のニーズに即した観光を提供するニューツーリズム等の振興を図る。

観光立国推進基本計画(平成24年3月30日改訂)

ニューツーリズム

エコツーリズム

自然観光資源について知識を有する者から案内又は助言を受け、当該自然観光資源の保護に配慮しつつ当該自然観光資源と触れ合い、これに関する知識及び理解を深める活動

グリーン・ツーリズム

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動(農作業体験、農林漁家民泊、食育など)

文化観光

日本の歴史、伝統といった文化的な要素に対する知的欲求を満たすことを目的とするもの

産業観光

歴史的・文化的価値のある工場等やその遺構、機械器具、最先端の技術を備えた工場等を対象とした観光で、学びや体験を伴うもの

ヘルスツーリズム

自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持するもの

スポーツ観光



スポーツを「観る」「する」ための旅行に加え、スポーツを「支える」人々との交流や、旅行者が旅先で多様なスポーツを体験できる環境の整備も含むもの

ファッション・食・映画・アニメ・山林・花等

その他、左記を観光資源としたニューツーリズム

その他の新たな観光需要の開拓

若年層の旅行

若さに羽が生えた!
若旅

若年層の旅行実態等を把握、成功事例の収集・普及、若年層の旅行需要を喚起するための実証実験、旅行の意義の啓発、若年層に係る新たな旅行機会の創出等を通じて若年層の旅行促進を推進

長期滞在型観光

長期滞在型観光に係る需要の掘り起こしに努めるとともに、地域による継続的な長期滞在型観光地づくりを促進

船旅の魅力向上

船の認知度向上のための戦略的な情報発信や利用者ニーズにあった旅行商品の開発・販売等を促進

医療と連携した観光

外国人患者等の受入環境を整備しつつ、医療と連携した観光ツアーの多様化・高付加価値化を推進するとともに、海外における認知度の向上を進める

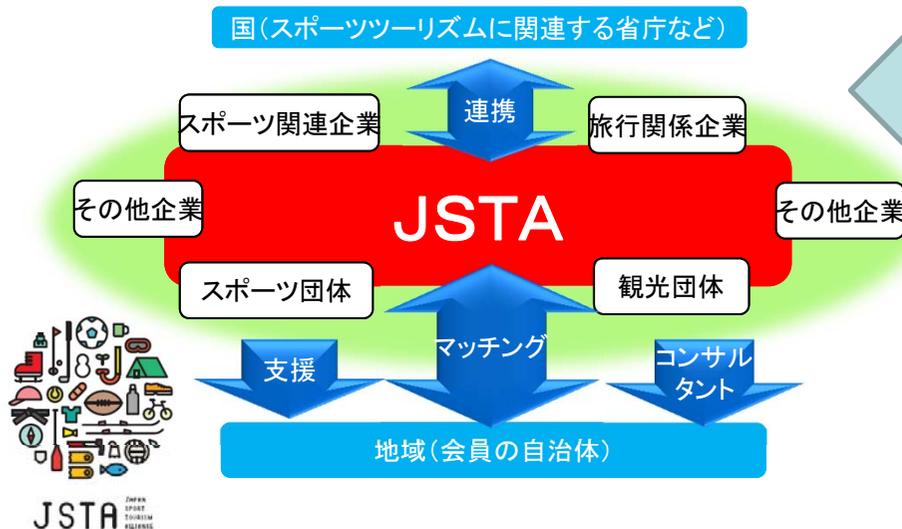
スポーツツーリズムの推進

「観光立国推進基本計画」(平成24年3月30日閣議決定)

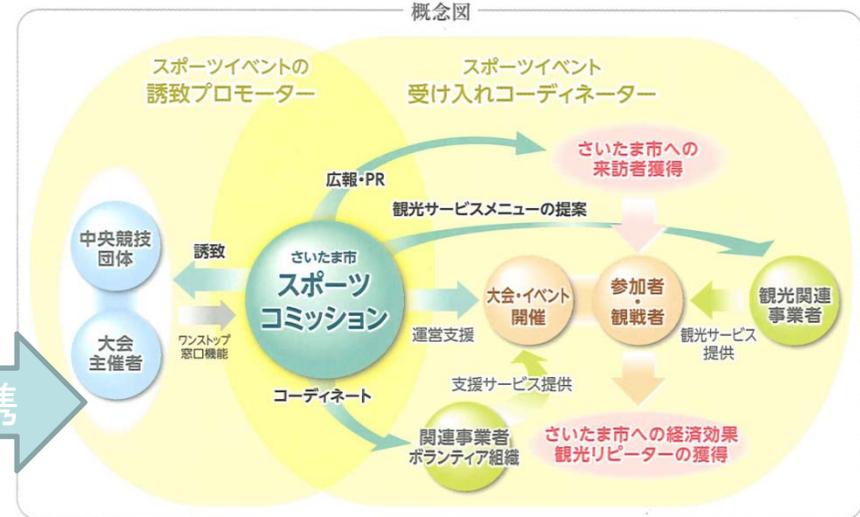
スポーツツーリズムとは、スポーツを「観る」「する」ための旅行に加え、スポーツを「支える」人々との交流や、旅行者が旅先で多様なスポーツを体験できる環境の整備も含むものであり、国内旅行需要の喚起やゴルフ、スキー等スポーツへの指向性の高い外国人旅行者の訪日促進に寄与するものである。

このため、平成23年度に策定された「スポーツツーリズム推進基本方針」に基づき、**地域スポーツコミッションの設立**を促すとともに、情報の集約・発信、国際スポーツイベントの誘致・開催支援などを担う**スポーツツーリズム推進連携組織**を創設する。また、2019年のラグビーワールドカップの日本招致成功の経験を活かし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの招致に取り組む。

平成24年4月には、我が国のスポーツツーリズムの中核的組織として、地域スポーツコミッションの設立や、国際スポーツイベントの誘致・開催への支援等を担うJSTA(一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構)が設立された。



スポーツコミッションの役割(例:さいたまスポーツコミッション)



◎「さいたまクリテリウム by ツールドフランス」の誘致

- 日時:平成25年10月26日(土) 場所:さいたま市中央区さいたま新都心
 主催:さいたま市、さいたまスポーツコミッション、(社)さいたま観光国際協会、A.S.O
 ・「ツールドフランス」を冠する自転車レースとしては**世界初開催**
 ・「ツールドフランス」とは、距離約3,300km、高低差約2,000mを23日間で走り抜く世界最高峰の自転車ロードレース
 ・世界100局以上のネットワークを活用し**132カ国**でTV放送予定。
 ・世界のトップライダー計50名が参加予定。

コスプレイベント（例：北海道 洞爺湖町）

TOYAKOマンガ・アニメフェスタ2011

2012年6月23日(土)・24日(日)

洞爺湖温泉街を丸々コスプレ会場にするという斬新なイベント。来場者は前回3,000人だったが、今回は30,000人を越える。この他、再度イベントも多数あり、観光客が減っていた温泉街に活気を戻す起爆剤となった。



食×観光 ～ B級グルメ ～

【B-1グランプリ】

第1回八戸	2006年2月18日～19日	参加10団体	来場者 1万7000人
第2回富士宮	2007年6月 2日～ 3日	参加21団体	来場者25万人
第3回久留米大会	2008年11月1日～ 2日	参加24団体	来場者20万3000人
第4回横手大会	2009年9月19日～20日	参加26団体	来場者26万7000人
第5回厚木大会	2010年9月18日～19日	参加46団体	来場者43万5000人
第6回姫路大会	2011年11月12日～13日	参加63団体	来場者51万5000人
第7回北九州大会	2012年10月20日～21日	参加63団体	来場者61万人



横手焼そば(秋田県横手市)



焼豚玉子飯
(愛媛県今治市)

【B級グルメによる経済効果の例】

- ・過去に連覇した「富士宮やきそば」の静岡県富士宮市では、平成13年度～平成18年度までの6年間で217億円の経済効果があった(富士宮やきそば学会と富士宮商工会議所による試算)。
- ・B1グランプリin厚木では、2日間で36億円の経済効果があった(厚木市商工会議所による試算)。
- ・岡山県は、京阪神からB級グルメを味わおうとする観光客により8億円の経済効果があると試算も。



オムカレー(北海道富良野市)

東北観光博について

概要

東北地域全体を一種の博覧会会場と見立て、28箇所のゾーンを核とし、官民を挙げた一体的な取り組みを実施（平成25年3月末まで（平成24年3月18日から本格実施））

テーマ・目標

「**こころをむすび、出会いをつくる。**」

- 大きく落ち込んでいる東北地域への旅行需要の喚起
 - ・東北地域の入込客数について、震災前水準への回復を基本的な目標としつつ上積みを目指す。（H22ベース推計：1.2億人/年程度）
- 地域が主体となって持続的に推進できる仕組みの定着
 - ・滞在型観光、地域間の連携、地域と旅行者との交流、観光関連情報の一元化・共有とその基盤となるIT環境等

東北観光博ロゴマーク

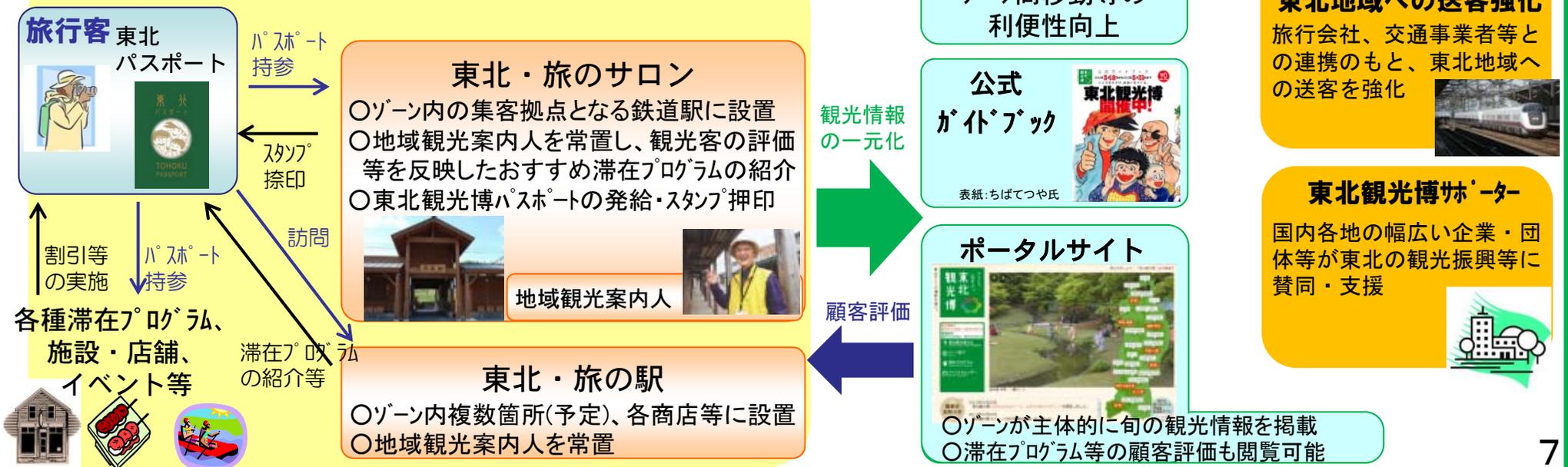


- 東北の豊かな森をイメージした「緑」。
- マークは絆とふれあいを具体化。人々やゾーンの無限のつながり中の笑顔を表現。6つの県と観光客、あわせて7つが1つになり、東北に大きな虹をかけるとの意味から7色の虹色。

実施事項

各種メディア等を活用した観光資源・各種イベントのPRの他、下記の内容について実施

ゾーン毎に個性あふれるテーマを設定・滞在プログラム等を提供



東北地方の高速道路の無料化



※ は平成23年度中に供用予定

注) 被災地支援・観光振興は対象路線内の走行分のみ無料

H23(2011)年12月1日0時から
 H24(2012)年3月31日24時まで
 で 被災地支援
 観光振興
 避難者支援
 を目的に
 東北地方の高速道路を
 無料化

“東北観光博応援企画”みちのくひろし旅～出会いを求めて東北1800キロ～

【背景】

東日本大震災からもうすぐ1年が経ちますが、直接的な被災を受けた沿岸部では、生活の基盤を失い、日々暮らすことで精一杯という状態の地域もあり、また、直接の被害を免れた地域でも東北一帯での風評被害により、観光を始めとする経済活動が脆弱となり、東北の地域経済はまだまだ回復していません。地元の食文化や日本の原風景を残すために前を向いて歩き続けている東北の人たちを、継続的に応援することが大切なのです。

【概要】

昨年度末で2年3か月務めた観光庁を退官し、これからは日本再生のために、そのネットワークと力を尽くしていく決意を固めた元観光庁長官・溝畑宏。今後の活動が各方面から注目される中、溝畑が選んだのが“自転車”でした…。観光庁長官在任時の感謝の気持ち東北に伝えることと、自らが手がけた東北観光博を盛り上げ、東北復興を後押しするために、東北観光博当初設置の28ゾーン全てをサイクルツーリズムします！行程の中で、地域の魅力を直に感じ、地元の熱意ある人々と触れ合いながら、新しい取組や構想を見つけて今後の東北復興・活性化支援のメニューを見つける旅をします。将来に向けた宝探し企画です。Active TOUHOKU! Sports-tourism!!

- 日時 2012年 4月27日(金)～年内メド
※28ゾーンを回りきるまで断続的に実施。
シーズン1 : 4月27日(金)～5月10日(木)
シーズン2 : 6月9日(土)～6月13日(水)
シーズン3 : 7月5日(木)～7月10日(火)
シーズン4 : 8月18日(土)～8月23日(木)
シーズン5 : 9月29日(土)～10月4日(木)
シーズン6 : 11月29日(木)～12月3日(月)
シーズン7 : 12月18日(火)～12月21日(日)
- 会場
シーズン1 : 福島県新地町一岩手県盛岡市
シーズン2 : 宮城県塩釜市一岩手県盛岡市
シーズン3 : 岩手県盛岡市一青森県むつ市
シーズン4 : 青森県むつ市一青森県弘前市
シーズン5 : 青森県弘前市一秋田県仙北市
シーズン6 : 秋田県仙北市一山形県米沢市
シーズン7 : 山形県米沢市一福島県いわき市



観光と食の安全安心を
伝える“みちのくひろし”
新”公式キャラクター”
「ミスターおにぎり」

- 主催 食育大車典、成基学園、(株)マルハン、(株)トラストエージェント、
■協賛 貴賓あんしん保証(株)、みちのくコカ・コーラボトリング(株)、アイフル(株)、
(株)ドン・キホーテ、東急不動産(株)
■後援 東北観光博実行委員会事務局
(株)ゼビオ、Ustream Asia(株)
■協力 観光庁スポーツ観光推進室、ランナーズインフォメーション研究所

合計:約1,800km(新地町から28ゾーンを回り、いわき市まで)



【東北観光博とは?】

東北まるごとぜんぶを博览会会場に見立てた取組。使えば使うほどお得になる旅のお供「東北バスポート」、オススメ情報を教えてくれる「地域観光案内人」、旬な旅情報がたくさん「ポータルサイト」等、楽しい旅の仕掛けがいっぱい。

【1日の流れ】



- 【発信手法】
- ◆「USTREAM」での生中継及び各地点での搬送番組
合計視聴者は31万人を超過。
同時接続360人超。視聴者数ランキングで最高24位
 - ◆要所でのフジテレビ「めざましテレビ」で報道。
 - ◆日本テレビ「バンキシャ!」、テレビ朝日「モーニングバード」で特集。
 - ◆47ニュース(共同通信)での日記的な記事の配信。
 - ◆産経デジタル「Cyclist」で隔週連載。
 - ◆ツイッター「@Hiroshi_Tabi」でのリアルタイム配信(USTREAM連動)
 - ◆ラジオへの出演「JFN」、「NACK5」、「FM大坂」「FM岩手」など。

沿岸部は特別にシーズン2として、塩釜→陸前高田を走行。(140.3km)

